

## 鑄物 言葉

文／NIT・新山英輔  
画／IJS・内田敏夫



### 【にせ外来語】

一見外来語のように見えるがじつは古くからの日本語，という曲者がいます。

【はつり】皮を剥ぐ，少しずつ削る，などの意味で，平安朝初期の日本霊異記に出ているコトバだそうです。

【きさげ】きさぐ(刮ぐ，削ぐ)とは削り落とす，あるいはこそぐ(刮ぐ)のことで，古事記にも出てくるそうです。Kisage 象牙職人というコトバがあるようですが，たぶん関係ないでしょう。

【るつぼ】ちょっと正体不明の感じもありますが，ちゃんとした日本語で語源は「炉壺」または「鑄る壺」だろうといわれています。大和言葉にはラ行ではじまる語はないといわれていますが，「鑄る壺」だとすると，いもの，ゆ，かた，などと同じく漢字渡来以前の大和言葉かもしれません。一方「炉壺」だとすると炉は漢字だからずっとあとの時代ということになります。なおルツボは漢字では坩堝と書きますが中国語でも坩堝(ガングオ)です。